


1. JDの趣旨・目的とは？

★「完全参加と平等」や「ノーマライゼーション」の実現を目的として、障害の種別や立場、考えの違いを乗り越え、緩やかな団結のもとに活動を行なっています。

2. JD誕生のきっかけは？

★国連・国際障害者年（1981年）を日本でも成功させようと、それまで個別の活動をしていた多くの障害関連団体が大同団結して結成されました。設立は1980年4月19日。

「12月9日障害者の日」キャラクターのクッピー ▶ 

3. 加盟団体は？

★障害当事者の運動団体をはじめ、障害者の家族、施設、社会福祉、教育、医学・リハビリテーション関連の専門職、研究者など多彩です。さまざまな団体が加盟していることが一番の特徴です。

4. どんな活動をしているの？

★月刊情報誌「すべての人の社会」を発行しています。ホットな話題の速報、テーマ毎にじっくり学べる連載、JD加盟団体を訪問しての活動紹介、トピックスとインフォメーション。JD役員持ち回りで執筆する巻頭言と視点は読みごたえ120%！重度の脳性マヒで文学者の花田春兆顧問のエッセイは痛快！薄くて軽くて中身がぎっしり詰まっています。

▶▶すべての人の社会



年間購読料3,960円（送料込）

★情勢に対応したJDとしての意見を行政や国会議員に届けたり、調査・研究を行なっています。必要に応じて随時、さまざまなテーマでセミナーや集会なども開催します。

★2009年12月8日、「障がい者制度改革推進本部」が、閣議決定により内閣に設置されました。国連・障害者権利条約の締結に必要な国内法の整備など日本の障害者制度の集中的な改革を行うためです。障害者施策の推進に関して意見を求めるため、障がい者制度改革推進会議が開催されています。またそのもとでは総合福祉法をつくるための部会を開催しています。

この2つの会議の構成員にはJDの役員が何人も参画しています。2009年からの5年間は障害者の制度に係る改革の集中期間と位置づけられており、JDは今、障がい者制度改革に向けての活動が軸になっています。

★イエローリボン・冊子販売

障害者権利条約（2006年12月13日、国連で採択）の国内批准推進と障害のある人びとの社会参加の推進をめざしてイエローリボンの普及や、各種障害関連の冊子も取り扱っています。詳細はJDホームページで紹介しています。

▼JD30年の運動の道のりと展望

「弱くてもろい社会」から「すべての人の社会」へ

▼イエローリボンバッジ
 （実物は黄色です。）



500円



Yellow Ribbon 300円

5. 賛助会員になるには？

★このリーフレットのはがき部分を切り取って郵送またはFAXでJD事務局までお送りください。

6. 会費はいくらですか？

★年会費

*個人…1口 3千円

*団体…1口 1万円



キリトリ ✂

郵便はがき

50円切手
 をお貼り
 ください

162-0052

新宿区戸山1-22-1

日本障害者協議会 行

キリトリ ✂